



シルバーだより

道 標

第 2 号

H25.1.1

理事長
新年のごあいさつ 2

特集
各部会あいさつ 職員紹介 3

トピックス
お客様の声 働くなかま 4

「安全」への提言 時の人 8



〈表紙写真〉
明治地区餅つきボランティア

新年の
ご挨拶

いきいきと地域づくりに

貢献するシルバー大分

公益社団法人
大分市シルバーセンター
理事長 久 渡 晃

新年あけましておめでとうござ
います。

皆様には、健やかに新年をお迎
えのこととお慶びを申し上げます。

大分市シルバー人材センターも、
昨年四月、公益社団法人として新
たなスタートをきり、お客様から
いただいた様々な仕事を通して、
私たちの故郷「大分市」のまちづ
くりに貢献してまいりました。

ご案内のように、昨年はデフレ
や円高等による景気の低迷が続
き、大変厳しい経済環境におかれた一

年でありました。

しかしながら、当センターでは、
植木の剪定・草刈り・家事援助
サービスなどの主力業務を中心に、
前年度を上回る受注状況が続いて
おりますが、これも、ひとえに皆
様方の日々のご努力のおかげと心
から感謝をいたしております。

そして、仕事を通して地域、社
会との関わりを持ち続けることで、
地域、社会の一員として、「なく
てはならない存在」になり、シル
バー人材センターで働くことによ
り真の福祉と生きがいを感じ取っ
ていただければと願っております。
これから、高齢化社会がますます
すすんでいく中で、私たち世代
が自ら培ってきた知識や経験を駆
使して、シルバーパワーとして、

「福祉の受け手から社会の担い
手」となり、そして、私たち高齢
者が軸となって、地域の歯車を回
していくような新しい社会を築い
ていかなければなりません。

そのような中、年頭にあたり、
私から二点ほど申し上げ一層のご
理解を賜りたいと存じます。

一つめは、長年の懸案でありま
す当センターの移転問題に、今年
こそ方向を出したいと思っており
ます。

センターの開設以来、約三十年
が経過し、施設の老朽化と併せ、
業務の拡張に伴い事務室が手狭と
なり、会議室も不足しており、新
たな作業室の設置と交流スペース
の確保は今後のシルバー事業の拡
大、発展に欠かせないと考えてお
ります。

二つめは、JR大分駅南側に、
幅員百メートルのシンボルロード
が平成二十六年春に完成をします。
今、大分市では、「市民が憩い
潤う賑わいづくりの空間の創出」

をめざして、市民皆さんの手で植
樹や芝張りなど市民参加の中で整
備を進めております。

そして、完成後には、市民主体
の活動組織を立ち上げ、維持・運
営・管理を行ってもらい、市民の
皆さんが愛着をもつて育て、様々
な場面で市民活動のステージとし
ても活用が可能な広場を目指した
いとのことでもあります。

この大分市の取り組みは、自
主・自立・共働・共助というシル
バー人材センターの理念、役割に
も共通するものがあり、是非とも
この取り組みに参画が出来ればと
考えております。

それでは、会員の皆様には、今
年もシルバー事業にこれまで以上
のご協力をいただきますとともに、
この一年がすばらしい年となりま
すようお願いを
申しあげまして、
新年のご挨拶と
します。



年 新 賀 謹

各部会あいさつ

剪定部会

剪定部会長

築城和生

会員139名

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昭和五十九年に大分市シルバー人材センターが設立され、以後センターの基本理念を守り、地域社会に貢献を信条として信頼される部会に努力してきました。

これからも剪定部会のスローガンを守り健康に留意し、豊かでゆとりある人生を構築し、後継者の育成と発展に増々努力します。

草刈部会

草刈部会長

房前正弘

会員117名

(公社) 大分市シルバー人材センター草刈部会は、地域社会と密接な連携を保ちながら、その経験能力を生かし就業に努め、常に初心にかえり技能の向上を図り、会員が努力しあつて生活感の充実や福祉の増進とシルバー理念に基づき社会に貢献するために、次のことに取り組んでいます。

一、人材育成

草刈技能講習会を実施し知識、技能、資質を高め顧客満足度向上を図る。

二、安全就業の推進
事故ゼロ目標

三、先進地視察研修

意見、情報交換の場を確保し活性化を図る。

四、作業の公平性

共働、共助による仕事の分かち合い。

部内で横断的に支援、協力への取り組み。

以上四点について取り組んでまいります。

福祉・家事

援助部会

福祉・家事援助部会長

河村崇子

会員173名

嬉しい事に、会員さんも年々増えております。

会員さん各自が元気で社会に参加する事がひいては個人の自覚、健康につながると思っています。

昨年は各地区での集会で、皆さんと活発な意見交換が出来、心のもった講習も和気あいあいで行えました。色々な面で今年は、もう一歩前進したい思いでいっぱいです。

安全委員会

安全委員会会長

藤元康保

委員14名

スローガン

●「安全は全てに優先する」。この基本方針の精神を理解し、危険を危険と感じる力と習性を培い、安全を優先する作業に徹しよう。
●「相互注意」する勇気を発揮し、会員同士の絆を強く結ぼう。

職員紹介

今年もよろしく
お願い致します



主任
(公民館・剪定等担当)
大久保 誠

事務局長
佐藤 孝一

業務班長
(清掃・剪定等担当)
植木 哲

主任
(公共・剪定等担当)
小今井 寛

副班長
(草刈・草取等担当)
高橋 啓壽

主任
(庶務等担当)
竹本 瑞穂

主任
(草刈・草取等担当)
宗岡 陸夫

主任
(公共・大工・
自転車業務等担当)
木村 正

主任
(庶務等担当)
後藤 幸敏

主任
(経理等担当)
田部 信雄

主任
(家事援助・軽度支援等担当)
廣田 奈緒美

主任(経理等担当)
那賀 美保

主任(筆耕・日報入力等担当)
佐藤 薫

主任(庶務等担当)
堀 順子

次長兼庶務班長
廣島 良一

お客様の声

博愛地域総合支援センター

センター長 原 基典様

当センターは、障がいがある方々が地域社会の中で豊かな生活を送れるよう、様々な支援を行っています。その中で、シルバー人材センター様には、計八つのグループホームの世話人業務と、地域生活を目指す方々のための施設「宿泊型自立訓練博愛通勤寮」の管理宿直業務を委託し、延べ二十四人の皆様に日々業務に就いて頂いています。派遣された会員の皆様は、これまでの豊かな人生経験を活かし、大らかな心と細やかな気配りで利用者の皆さんを受け止め、接して下さっています。皆様の温かい人柄を慕い、毎日のことや今興味のあることなど色々な話題について話しかける利用者の姿は、グループホームでも通勤寮でも毎日見ることができま

す。

私達が日々行っている福祉の仕事は、人と人との触れ合い、心の通い合いが基本です。皆様の仕事ぶりはまさにその福祉の基本にかなうもので、私達支援センター職員でもなかなかうかがい知ることのできない利用者の皆さんの気持ちを、会員の皆様が自然体でするりと引き出して下さることも少なくありません。そのようなことがあるたび、皆様の「人生の機微」が滲み出た接し方から私達も大いに学ばなければならぬと、強く感じています。

今後とも、大分市シルバー人材センター様を通じて、会員の皆様には当センターの業務に力をお貸し頂きたいと考えているところです。

どうぞよろしくお願いたします。



ト

ピ

ツ

ク

ス

働くなかま

職場からこんにちは！

高崎山自然動物園にて
江藤 良信さん

三年前から「猿追い」の仕事をしています。高崎山の猿はこの山全体をすみかとしている野生の猿で、たまに高崎山登り口付近や線路脇周辺まで降りてくることがあります。「猿追い」は猿が降りてきそうな場所を見回り、猿を見つけたら大声で「コラーツ」と怒鳴り、それでも逃げない場合は、猿に当てないように小石を投げて猿を山に追い返す仕事です。ここの猿はおとなしく人に危害を加えることはほとんどありませんが、過去にお年寄りや子どもからお土産などを奪ったりしたこともあります。猿がお客様に危害を加

えることのない

よう見回りには

細心の注意を払う

ように心がけてい

ます。

外の仕事なので、季節ごとの大変さもありますが、よく歩くので結構いい運動になっていま

す。

お客様の「ありがとう」の

言葉がうれしくて！

見回り中には猿以外にお客様にも出会います。普段接することのない若い人たちとの会話や「楽しかった」「ありがとう」のお客様の言葉が仕事の励みになっています。



編集者…高崎山には駐車場業務等で7～8人のシルバー会員さんが就業しています。



コラーツ

こんな
前触れに
注意!!

正月あけのこわい 脳卒中のお話

くも膜下出血

冬場に起こり易い病気といえば脳卒中と心臓病。脳卒中の中でも、一番怖いのが、くも膜下出血。

二十年程前にあった本当のお話。勤務先の看護婦さんから「母の頭痛なかなか治らないの？」と相談。近くの医者から「風邪でしょう。温泉でも入ってみたら」と診断。その頭痛は突然で初めてのもの。嫌な予感の中、くも膜下出血でした。緊急手術し、無事救命。運が良かった、めでたし、めでたし。

頭痛と云う初期症状

冬は外と屋内、居間と浴室などの温度差が大きくなりがちです。そのため血圧が変動しやすく、急激に高くなることがあります。重篤な疾患が原因であっても、意識障害や麻痺、しびれ、目の症状などが出るとは限りません。特にくも膜下出血は、初発症状が頭痛のみが多いです。自分の大切

な命を守るために、「単なる頭痛」と決めつけないようにしましょう。

こんな前触れに注意

次のような頭痛は危険な頭痛の可能性が高いので特に注意し、病院にかかるようにしましょう。

- ① いつもと違う頭痛
- ② 今迄経験したことのない頭痛
- ③ どんどん悪くなっていく頭痛
- ④ 突然の激しい頭痛
- ⑤ 四十歳以降の初めての頭痛などです。

皆さん、血圧などの生活習慣病に注意して、健康な毎日が送れるよう、心から応援しています。



日本脳神経外科学会専門医
日本頭痛学会専門医
医療法人 仁真会 真央クリニック
医学博士/院長

佐藤 眞一 先生

私の健康法

数戸A班
田上 幸也
80歳



番危惧することは「認知症」だろう。

日頃から、テレビを見ても散歩しても、ただ漫然とせず、数を求めるのも頭の体操になり、物忘れの防止にも役立つと思う。要は個人個人顔が違えば考えも異なる。頭も体も酷使する必要はないが自分自身にあった体と頭は死ぬ迄使わないと駄目になると感じる。

人との会話も重要だろう。

幸也 〆句〆

すれ違ふ
シルバーマークに 無事祈る
働く気
その意気込みが 年忘れ

私の健康法を云えばすこし固苦しく聞こえるが、若干聴力は落ちていくくらいで日常生活には不自由はしてない。衰えは「足」からと昔から云われているが、私は雨の日を除いて三百六十五日毎朝歩いている。四十〜五十分位で余り無理はしない。歩く途中で手足を振って体の柔軟体操を心掛け、近くにある小学校で、鉄棒・平均台・タイヤ跳びなど、あらゆる器具を利用して戴き体調改善に心がけている。

外出時には、エレベーターやエスカレーターを極力控え、歩くように努力しているし、散歩の時は登り坂や石段を選び、段数を数えることも欠かさない。頭と体の体操に・・・と思うからである。

多くの人々が年を重ねると一

人物・ウオッチング



手芸サークル萌黄会
代表者

大久保 初枝さん

ごくごく自然体で 人生を楽しむ

手づくりの手芸品を製作し、地域のイベントなどに出品、販売しそれなりの成果を上げているシルバー人材センター会員互助会のグループに注目してみた。

生がい作りの一つでもあるサークル活動が、地域で交流を広げながら、徐々にではあるが「事業活動」としても魅力ある実績をあげていると云う。

今回は、そのグループを永い間支えているリーダー大久保初枝さんをウオッチング！

互助会サークル萌黄会もえぎは、そもそも家事援助部会の中で趣味を通じて出来たグループであると云う。

当時、働くだけではなく、手芸と云う共通

の話題で段々と仲間の輪が広がり自然にグループへと発展したとのこと。「後に、センターのSP事業にも関わったりもしましたが、結局、同好会として独立したのが今の萌黄会です」

現在の会員数は十五名。みんな手芸が大好きで月二回の教室では、手先はもちろん「口」までも動かして物作りを楽しんでいる。

そんな仲間を束ねているのが、三代目の代表者の大久保さん。「二人で何かをするには限り

がありますと同じ趣味のもとでサポートしあえる仲間が居ると云うことは、気持ちにも弾みがついて生きがいにつながります」

にこやかに、優しく、しっかりと話してくださいる大久保さん。

「大分市生活文化展に

関わったのは、五、六年前で当時は作品の展示だけでした。作品の販売を始めたのは三年前からです。生活文化展での販売実績も年々伸びて来て居り、この事は参加者の一員として萌黄会会員のすごい「はげみ」にもなっています」

小柄なのに、何か堂々としている大久保さ



サークル教室▶



▲大分市生活文化展

んに思わず月並みな質問(健康管理)をしたら「何事も無理をしない、ごくごく自然体で居ることよ」と云う明快な答えが返って来た。

「カルチャーセンターで色鉛筆画教室に行ってます。作品作りのヒントや彩使いなど、どちらも無関係ではないしね」

パッチワークをはじめ、各種バック、帽子、エプロン、ポーチなど手づくりの手芸は

作品の仕上がり迄、手間ヒマがかかるので常に手先を動かしたり、次のモチーフを考えたり「もの作りは多忙なのよ！」と眼鏡の奥のお茶目な笑顔で話を締めてくださいました。

新入会員の手記紹介

夢のある第二の人生へ

人材センターに入会のピカピカの一年生です。

入会后、直ぐに空調技能者講習・草刈講習・剪定講習と、欲張り頑張っています。今は、五班の班長さんのもとで剪定の猛研修中です。

若さと素質？を

認められて指名の連日に嬉しい悲鳴！ボサボサの一本の木も、剪定され気持ち良くなるのは木だけではなく、私自身も同じ。それにお客様の喜ばれた顔と、ありがたいご苦労さま！の一言は、疲れも飛び次の仕事の活力にと、二重の喜びです。

六十歳の定年後、人材センターに登録をして、研修を通じて多くの方を知り、友達となり輪（和）が大きく広がりました。今では、



5地区 宮河内 堀 昭男

歳を感じることなく充実した毎日をお過ごしされているのも、入会出来たお蔭と幸せに感謝しております。

忙しいそんな中にも、センター内に釣りの同好会を結成させて戴き、第一回目の釣り大会を開催、皆さんクレーいっぱいに大満足でした。

これからも、健康と安全作業に気をつけ、研修を活かした第二の人生に、夢を膨らませて頑張っていきます。

互助会

秋の旅（高千穂峡）

神々の里を訪ねて

滝尾C班 仲 洋子

十一月半ばなのに師走の寒さ、神々の住む地へ向かうにふさわしい日和の出発と成りました。話し上手なガイドさんと共にバスは軽快に走り、竹田の通過の所では、広瀬中佐から勿論滝廉太郎と話は弾み、熊本県に入れば今人気者のくまモンの話題、車窓からは山々の紅葉が目に入り束の間に高千穂へ到着しました。

高千穂神社の境内は樹齢七百年の杵（杉）の大木に囲まれ神秘的で、古事記の神々降臨の神話の里そのものでした。神々に東日本大震災、大分北部豪雨の早急の復興をお祈りし、神楽殿へ歩を進め御神楽鑑賞、各地の祭り神楽を拝観しますが高千穂神楽は、一味ちがい、男の神様



の優しさ女の神様のチャームングな舞、これぞ今言われている愛と絆の原点だと…。

暖かい心になった所で、美味しい昼食を済ませシヨッピング、おもしろいのお土産を手を高千穂の峰々と祖母山の頂きの薄雪に送られて、皆無事に帰路へ着く事が出来とても楽しい一日の旅でした。役員の皆様本当に有難うございました。

安全委員会だより

安全への自己管理として、皆さんも独自の「つぶやき」を唱え作業に取り掛かりましょう！

安全への提言(その二)

- ① 安全は身のまわりから
- ② 人は一人では生きていけない
- ③ 自信過剰は仕事の敵
- ④ 他人の失敗に学べ
- ⑤ 慎重は安全の母
- ⑥ ベテランに落とし穴が待っている
- ⑦ 危険を危険と認識できる人になるう
- ⑧ 安全はシルバーみんなの合い言葉

時の人

◆漢字博士 幸野隆至さん

第三十二回大分合同漢字博士認定大会で、当シルバー人材センターの幸野さんが、一般の部で最高得点を出し九月十五日大分合同新聞本社の認定式で漢字博士に認定されました。「かなり難易度が高かったのに予想を超える高成績だった」と云う出題者の講評のなかでの快挙でした。

本当におめでとございます。

◆平成二十四年度

安全適正就業標語表彰

最優秀賞／渡辺 静雄さん

「焦るな 急ぐな 慌てるな

余裕の気持ちで 安全作業」

優秀賞／利光 克寛さん

「指さして 右よし左よし 作業前」

佳作／篠原 洋一さん

佳作／高崎 甚平さん

掲示板

俳句・川柳・手芸・趣味等募集しています。

川柳

オレオレと

泣き付かれても

金は無い

大分市中島(中島B班)

加藤 明

老人は

働きたいが

職は無し!!

大分市関園(高田B班)

高橋 次郎

俳句

合歓の花

仄かに香り

闇のなか

今年も又、合歓の花が庭に咲きました。私の一番好きな花が今日

咲きました。昼の間は葉っぱが開いて、夕方になると花が咲き、

葉っぱは閉じて眠ります。

真白な、まん丸な羽毛を広げて

風にゆらんでいます。

大分市羽田(滝尾C班)

丸山 逸子

短歌

愛染む 絆結んで 新妻の

袖を振りふり 眼で合図

大分市庄の原(城南班)

原田 博文

和紙ちぎり絵同好会

会員募集!!

月に一度作品作りで楽しんでいます。

毎日お忙しくお過ごしのことと思いますが、あなたのお部屋に御自分で

貼った作品を飾り、心のあたたかさを感じてみませんか。

日時 毎月第一火曜日

十時三十分～十五時三十分

場所 大分市中戸次

戸次老人いこいの家

係 村上東亜子

編集後記

会員皆さんの新しい佳き幕あけを祝し、今年も健康と安全就業を祈ります。世はまさに原発のは非を問う昨今、可愛い孫たちの未来は勿論、安全であることを祈りたい。同時に東日本大震災の被災者の苦勞も決して忘れ風化させてはならない。

孫やひ孫達の安全だけではない、やがて我々の住むこの地にも、南海トラフの脅威が近い将来高い確率で襲ってくる。日々の作業の安全を祈り、日頃から避難場所や経路を調べておきたい。

●会報編集委員

瀧本雄介・田村益子・本田道子
後藤幸敏・阿部治行

シルバーだより

道 標 第 2 号

●発行／平成25年1月1日

●発行所／

公益社団法人大分市シルバー人材センター

〒870-0154 大分市高城西町32-16

TEL 097-552-3220 (代表)

FAX 097-552-3796

ホームページのご案内

<http://www13.ocn.ne.jp/~oita-sjc/>